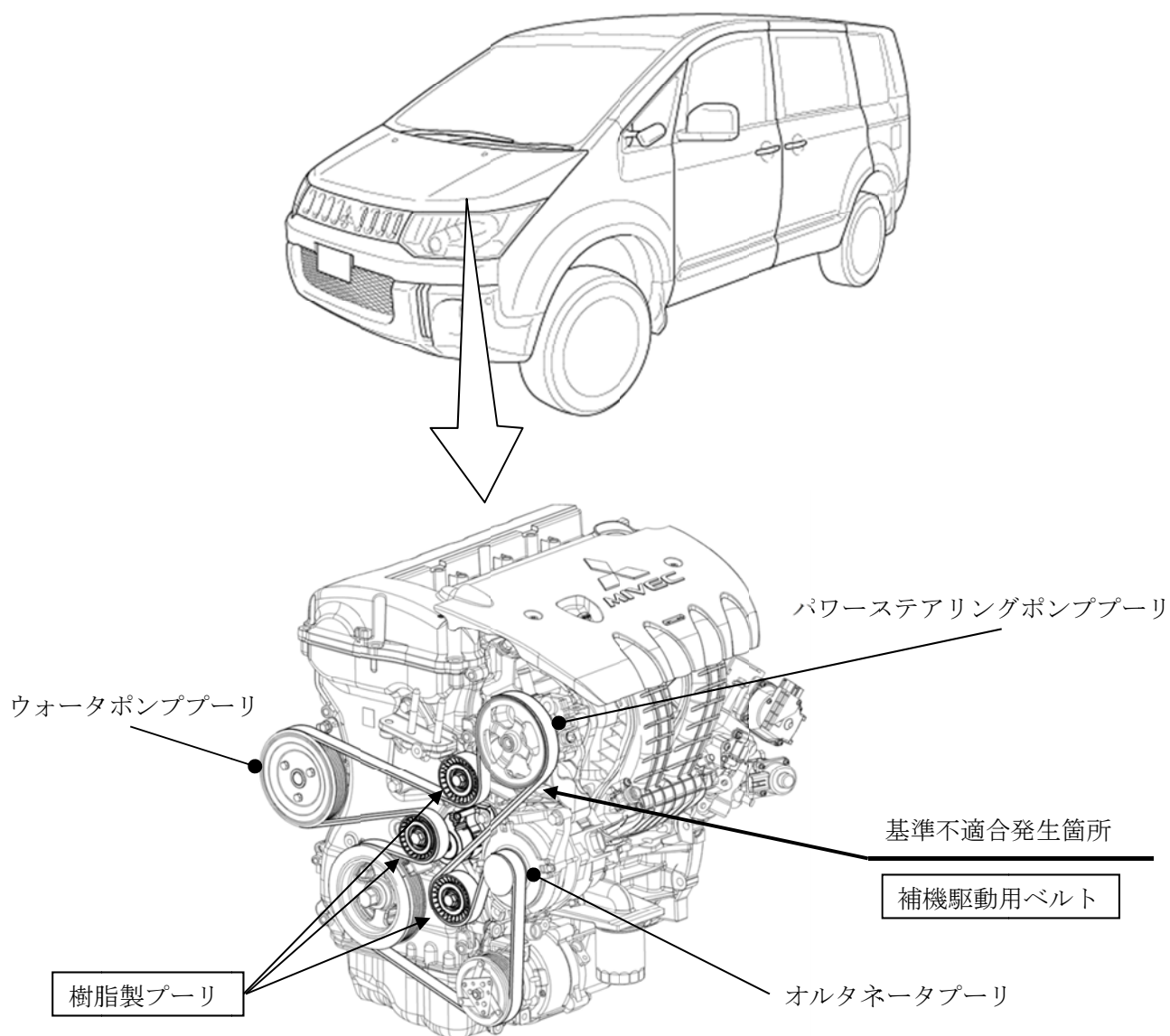


改善箇所説明図①



エンジンの補機駆動用ベルトの材質が不適切なため、樹脂製プーリが傾斜状に摩耗するものがある。そのため、そのまま使用を続けると当該ベルトが損傷して外れ、警告灯が点灯するとともに、バッテリー上がりまたはオーバーヒートに至るおそれがある。また、油圧パワーステアリング車においては、操舵力が増大するおそれがある。

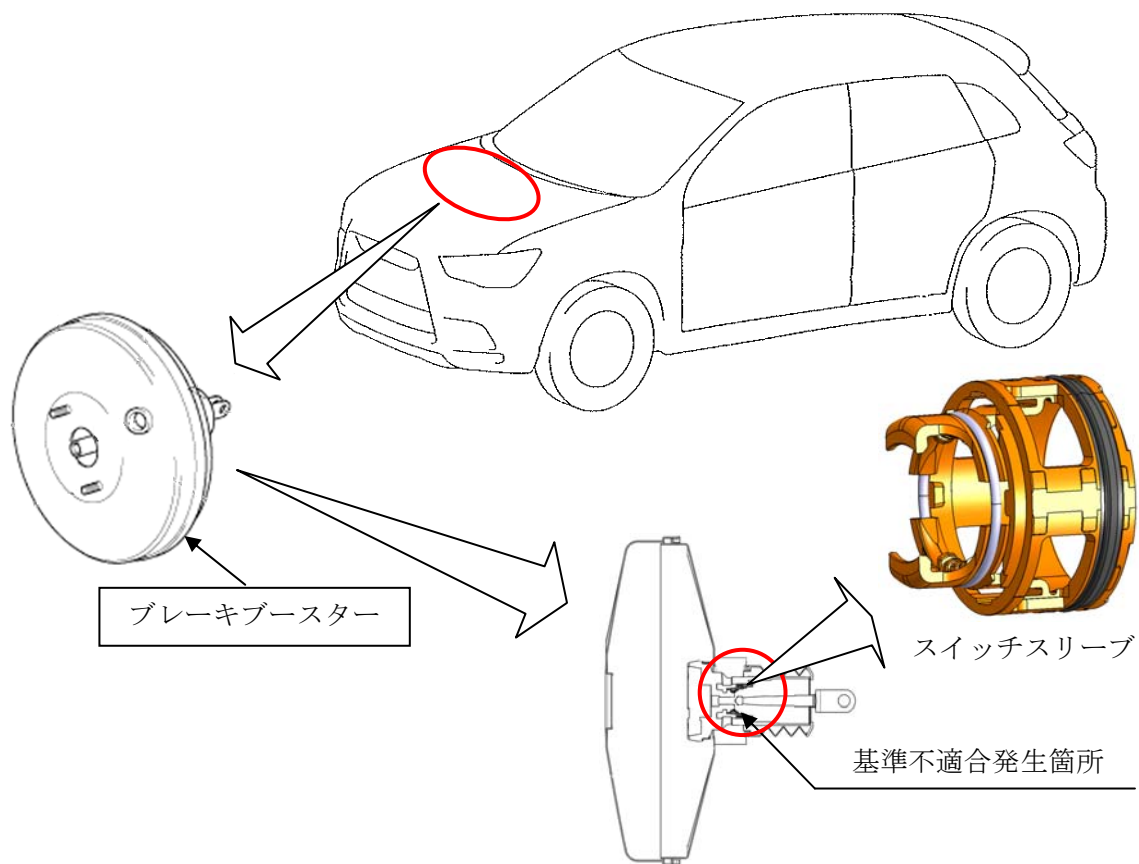
改善の内容

全車両、補機駆動用ベルトを対策品と交換する。また、樹脂製プーリを点検し、摩耗が進行している場合は、新品と交換する。

注：図中の 内は、点検または交換する部品を示す。

識別：フードヒンジ左側（助手席側）の下側ボルトの頭部に白または黄色ペイントを塗布する。

改善箇所説明図②



ブレーキブースターのブレーキアシスト機構（※）を構成するスイッチスリーブの組付け工程が不適切なため、当該部品に亀裂が発生しているものがある。そのため、ブレーキアシスト機構が作動した際に、スイッチスリーブの爪が折損し、ブレーキペダルが戻らず発進できなくなるおそれがある。

（※）ブレーキアシスト機構：ブレーキペダルの踏み込み速度と踏み込む力によって、緊急時を判断し、ブレーキ液圧を高めてより強いブレーキ力を発生させる機構

改善の内容

全車両、ブレーキブースターの製造番号を確認し、該当するものはブレーキブースターを良品と交換する。

注：図中の 内は確認、交換する部品を示す。

識別：ブレーキブースターに貼付されているラベル上部に、白または黄色のペイントを塗布する。